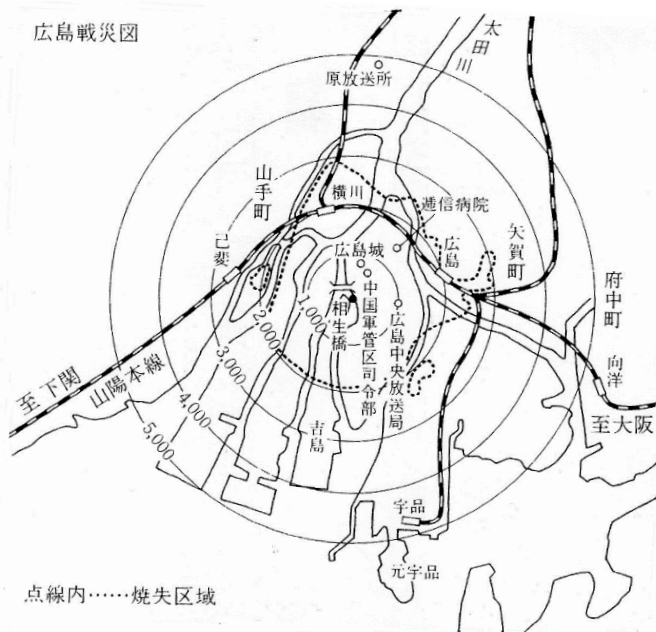


日米開戦の日に ヒロシマを考える

～丸木位里、丸木俊の《原爆の図》を通して見えてくる「戦争」～



『幻の声』(岩波新書) 白井久夫著、岩波書店 (1992) (P92 より)

原爆投下後の広島を描いた丸木位里、丸木俊による《原爆の図》をごぞんじですか？

昨年アメリカで行われた《原爆の図》の巡回展を担った原爆の図丸木美術館学芸員の岡村幸宣さんに、《原爆の図》やその巡回の意味についてお話を伺います。

1941年(昭和16年)の日米開戦から75年目の12月8日に、《原爆の図》を通して「ヒロシマ」「戦争」を考える講演会です。

- 〈講師〉 原爆の図丸木美術館 学芸員
岡村幸宣 (おかむら ゆきのり) さん
- 〈日時〉 2016年12月8日(木) 午後6時～8時
- 〈場所〉 小金井市公民館東分館 2階学習室
(小金井市東町1-39-1 東センター内)
- 〈定員〉 40名(小学生以上の方)
- 〈参加費〉 無料
- 〈申込み〉 直接図書館東分室カウンターか電話(042-383-4550)で
11/16(水) 9:00より受付開始(申込み先着順)

